

【取り組み (案)】

グループ名: 1グループ

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	1. 子どもの居場所づくり
個別テーマ	①子育て支援として保育施設、幼児の学びの場、親子での出会いの場づくり
内 容	<p>保育所・幼稚園の充実、子どもの一時保育、託児所付き施設、育児サロン、学習(習い事)の場、遊び場づくりを進める。</p> <p style="text-align: center;">育児サロン</p>
取 組 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師・保健師がいる保育施設(町営)をつくる ・ ミニア世代にボランティアをたのみ、子どもをあずけられる場をつくる ・ (廃校を利用して)ミニア世代が自分の得意なことを子どもたちに放課後に教えることができる場をつくる ・ ^{子ども}ダンスクラブなど、おしゃべりな習い事のできる場をつくる(若い親のニーズ) ・ カフェと託児所が一緒になっていて、母親たちが交流・息抜きができるような場をつくる ・ 気軽にあずけられる一時保育所を
重要度 緊急度	
住民・事業者等の役割	
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	1. 子どもの居場所づくり
個別テーマ	② 地域の特性を活かした場づくり
内 容	福島地区や吉岡地区等の市街地が持つ特性を活かして、学校施設などの遊休施設を利活用し、総合型地域スポーツクラブ等の仕組みを活用し、スポーツはもちろん、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンター 学童クラブ、文化さらには婚活（若者の異性との出会い）までを含め運営するなど、新たな地域文化の創出を進める。（地域間の相互交流と域内交流の促進）
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトドアを通して 学び、遊び、体力をつくる 場をつくる（海・山） → 初心者にもって アウトドアを 教えてくれるとよい ・ 4軒の小学校のグラウンドをキャンプ場に利用
重要度 緊急度	
住民・事業者等の役割	
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	2. 若者の居場所・交流の場づくり
個別テーマ	①生活関連サービスの集積・創出による場づくり
内 容	若者の求める、生活関連サービスを若者の参画を得て市街地に集積し、出会いや・交流のできる場を創出する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流のできる 娯楽施設 (ゲームセンター、ボリング場・カラオケBOX)をつくる ・ トニネル記念館のスクリーンを利用して 映画上映をする ・ スナックを昼間カラオケBOXとして高校生に開放する ・ スーパーに買ったものを その場で食べれる フードコートをつくる (ファーストフード店を作るより現実的)
重要度 緊急度	
住民・事業者等の役割	
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	2. 若者の居場所・交流の場づくり
個別テーマ	② イベント等の活用による場づくり
内 容	生涯学習、生涯スポーツの自由時間活動を通じて交流、親睦を深め、活動をコアにして、継続性あるイベント開催等を若者が企画・運営することで、出会いの場や機会を楽しみの場として創出することで、町づくりへの参加意識、定住意識を高める。
取 組 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町外の女性に募集をかけ、町内の独身男性と婚活イベントをさせる。 この婚活イベントは 福島町の魅力を伝えられるような体験イベント（BBQや地引き綱体験など）とすると二重により効果が生まれる。1泊2日にして都会から人も ・ 山採取りやスノートレッキングなど、町内の達人が教えるイベントをもっと頻繁に行う 運営団体があればよいのでは ・ ビアガーデン イベント（未成年でも参加できるものもあればよい（昼間）） → 若者の交流の場 ・ おしゃれなイメージのあるアウトドアイベントを開催する（キャンプ会など） ↳（スポーツ用品店にちしきを置かせてもいい、外から若者を呼びこむ） ・ 高校生主催のイベントを開催する（学校祭を広げたイメージ） ↳ もしくは 今あるイベントの企画に高校生が入る
重要度 緊急度	
住民・事業者等の役割	
備 考	

を呼ぶ"どいい"のて"は

Ⅲ 「学びと実践」の連動

解決課題	1. 福島商業高校との連携
個別テーマ	① 福島商業高校の存続
内 容	学校と町民の連携により、水産業・農林業・商業・観光業の専門家育成や生活関連小産業の創出に向けたカリキュラム提供等により、高校を卒業した若者の流出を防ぎ、町外からの福島商業高校への入学生等の増加を図る。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産科と普通科をつくる ・ 今の高校生が求める職業を調査し、それに就けるような科をつくる。 ・ 専門色の強い科を作る (公務員進学科, 美術, 調理科など) ・ 制服のデザインをかえる ・ 週に1度か給食を出すようにする、売店を設ける
重要度 緊急度	
住民・事業者等の役割	
備 考	

【取り組み (案)】

グループ名： 2グループ

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	1. 子どもの居場所づくり
個別テーマ	①子育て支援として保育施設、幼児の学びの場、親子での出会いの場づくり
内 容	保育所・幼稚園の充実、子どもの一時保育、託児所付き施設、育児サロン、学習(習い事)の場、遊び場づくりを進める。
取り組み	<p>廃校舎を屋内型の大型アスレチック施設に(登別小が実例)たしか環境は十分だと思うので、遊べる場所を(新緑公園は小学生には物足りない)福祉センターはインターネットのエリアで、子どもが集まっている。外での遊べる施設の整備。(昔は、萩山の上)今は遊具が壊れている。キャンプ禁止。(水や管理費等でお金がかかりました。)</p> <p>公園の整備(小さな公園もともとあった)数が減っている、残りに力を注ぐ。行きたくならないような公園を作った。(萩山は良かった)</p>
重要度 緊急度	重要度 5 緊急度 5
住民・事業者等の役割	
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	2. 若者の居場所・交流の場づくり
個別テーマ	①生活関連サービスの集積・創出による場づくり
内 容	若者の求める、生活関連サービスを若者の参画を得て市街地に集積し、出会いや・交流のできる場を創出する。
取り組み	<p>近隣町との関連でなにかできないか。同町商工会でイベントの時期の 関係で婚活イベント成立しなかった。交流会の若者が集まる。(酒、友 空き地などで祭り(町内での祭り、町内での交流を図る。)) →場所によってイベントが違ふ。海で街コン。 町内交流館を早の観察イベント。企業内の若者の飲み会(町内では4町社) 持ちまわりで。流出した感はない。自動車学校はいい交流になる。 (資格学校を作ら?)</p>
重要度 緊急度	
住民・事業 者等の役割	
備 考	

Ⅲ 「学びと実践」の連動

解決課題	1. 福島商業高校との連携
個別テーマ	① 福島商業高校の存続
内 容	<p>学校と町民の連携により、水産業・農林業・商業・観光業の専門家育成や生活関連小産業の創出に向けたカリキュラム提供等により、高校を卒業した若者の流出を防ぎ、町外からの福島商業高校への入学生等の増加を図る。</p>
取 組 み	<p style="text-align: center;">科 科</p> <p>水産課や普通課を作る。水産はにない手、普通は進学向けに。 修学旅行で海外に。なにか町外に(かわいい制服、袋など) 外へ行く。町外に行く。</p> <p>学生リョウを作る。(町外の人を呼ぶためには) 大野農業は1年生のときは、全員リョウのはず。(農漁ならいっしょに高校で) 公務員試験対策を高校の目玉に(専門学校に行く必要ない) (商業を活かす)。進学コースをもうける。(商業だけでは厳しい)</p> <p>寮の生徒に向けた特別教室(塾みたいな)で各種試験対策を</p>
重要度 緊急度	緊急性高、重要度高
住民・事業者等の役割	
備 考	

【取り組み (案)】

グループ名： 4班

Ⅱ 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	1. 子どもの居場所づくり
個別テーマ	①子育て支援として保育施設、幼児の学びの場、親子での出会いの場づくり
内 容	保育所・幼稚園の充実、子どもの一時保育、託児所付き施設、育児サロン、学習(習い事)の場、遊び場づくりを進める。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りに子ども達を見てもらう。(世話好き・世話焼き隊) ・休みの日でも預かってもらえる保育施設(預かり保育の拡大・充実) ・子育て支援のPRをもっと強力に行う。パンフレットの作成。 ・子ども遊び場マップの作成 ・新緑公園の遊具の充実。 ・農家の田植え体験(交流・歴史)
重要度 緊急度	重要度：高い、緊急性、高い
住民・事業者等の役割	住民(次世代育成支援行動計画の中にある、世話好き・世話焼き隊を中心に)行政
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	1. 子どもの居場所づくり
個別テーマ	② 地域の特性を活かした場づくり
内 容	福島地区や吉岡地区等の市街地が持つ特性を活かして、学校施設などの遊休施設を利活用し、総合型地域スポーツクラブ等の仕組みを活用し、スポーツはもちろん、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンター 学童クラブ、文化さらには婚活（若者の異性との出会い）までを含め運営するなど、新たな地域文化の創出を進める。（地域間の相互交流と域内交流の促進）
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・街コンプロジェクト ・現在ある体育館、福祉センターの老朽化と再建を念頭に、児童館・体育館・福祉センターの機能を一つにした複合施設の建設。（町外からの交流人口の増も期待できる）
重要度 緊急度	重要度：高い、緊急度：低い
住民・事業者等の役割	行政、地域おこし協力隊
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	2. 若者の居場所・交流の場づくり
個別テーマ	①生活関連サービスの集積・創出による場づくり
内 容	若者の求める、生活関連サービスを若者の参画を得て市街地に集積し、出会いや・交流のできる場を創出する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・若者向けカフェ、衣料品店の創出。(4 5 2 7 [よこづな]) 機能→情報ステーションとテナント、若者企業者の育成 ※場所の候補→現在の黒川商店、岡田屋旅館の辺り ・フリーマーケット的なことを定期的を開催 (トンネル記念館駐車場で毎月1回程度)
重要度 緊急度	重要度：高い、緊急度：低い
住民・事業者等の役割	事業者、行政
備 考	

II 子どもや若者の居場所づくり

解決課題	2. 若者の居場所・交流の場づくり
個別テーマ	② イベント等の活用による場づくり
内 容	生涯学習、生涯スポーツの自由時間活動を通じて交流、親睦を深め、活動をコアにして、継続性あるイベント開催等を若者が企画・運営することで、出会いの場や機会を楽しみの場として創出することで、町づくりへの参加意識、定住意識を高める。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を利用した同窓会、学校対抗イベント ・ 飲食店にアンケートを設置し若者のニーズを把握。ニーズにあったイベントを開催し、若者にも協力（主催者側として）を募りながら行う。 ・ 福島若者会議（100人会議のようなもの） ・ 各産業団体等の青年部が合同となってイベントを開催。 （参画意識の向上と継続的なイベントのキッカケ作り）
重要度 緊急度	重要度：高い、緊急度：高い
住民・事業者等の役割	
備 考	

Ⅲ 「学びと実践」の連動

解決課題	1. 福島商業高校との連携
個別テーマ	① 福島商業高校の存続
内 容	学校と町民の連携により、水産業・農林業・商業・観光業の専門家育成や生活関連小産業の創出に向けたカリキュラム提供等により、高校を卒業した若者の流出を防ぎ、町外からの福島商業高校への入学生等の増加を図る。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業、農林業の実践的な授業。学校見学会の開催。 →漁業の体験等。 ・相撲に特化した取り組み（特待生制度） ・システムエンジニアの育成（未来大との連携の中で） ・資格取得支援の拡大（大原専門学校と連携の中で）
重要度 緊急度	重要度：高い、緊急性、高い
住民・事業者等の役割	
備 考	

